

結碧沖繩

第69号

編集・発行



社会福祉法人
沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804
那覇市首里石嶺町4丁目373番地1
TEL.098-884-3173(代)
FAX.098-882-5688

メール o.fukusi@okinawa-j.jp ホームページ <http://www.okinawa-j.jp/>



よみたん救護園利用者の陶芸作品

生活困窮者一時生活支援事業開始



養護・特別養護老人ホーム
具志川厚生園
生活相談員 大城 悦子

生活者困窮者一時生活支援事業とは、平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法の7事業の1つで住居のない方に衣食住を提供する事業です。利用期間は原則3ヶ月、延長で6ヶ月です。

その間に就職活動を行ったり企業実習など就労支援を受け、地域生活移行に向けて準備を整えます。

具志川厚生園では、宜野湾市からの受託で、4月より2名の方の受け入れを行いました。働く意欲はあっても働く場所が見つからない状況や住む場所が確保できずに路上生活を余儀なくされる等、様々な状況から市の職員を介して当事業へとつながります。

利用期間中、園内の活動や作業に参加し、養護利用者との交流も積極的に行いました。また、社会復帰に向け、当園が企業実習受け入れ先の指定を受けているパーソナル・サポートセンターと連携し園内で企業実習を行い、就

労に向けての生活リズムを整えながら、今後の生活資金を準備されました。その後は就職が決まり、利用終了となりました。

「衣食住の提供」は民宿や弁当などを提供したり様々な方法で行われていますが、ただ雨露をしのぐことだけではなく、温かい食事の提供、衛生面の管理、それ以上に職員や利用者との暖かい交流を通じて精神的な安定も得られ、利用開始時は疲れた表情だったが、次第に表情も和らぎ、就労に向けての意欲もわき施設から社会に向けて新たな第一歩を踏み出す大きなきっかけとなっています。



ステップハウス事業開始



うるま婦人寮
ステップハウス運営事業
自立支援員 黒岩 直美

皆さん、ステップハウス運営事業をご存知ですか？

聞き慣れない名称だと思われませんが、この「ステップハウス運営事業」は、うるま婦人寮が今年4月に沖縄県から受託したもので、女性相談所の一時保護所を退所するDV被害者に対し、本人の希望する地域において、民間アパート等の賃貸物件をステップハウスとして提供し、地域で自立した生活を送ることができるよう心のケアや就労支援・生活支援等、自立に向けた支援をすることを目的とした事業です。

当事業は利用者を直接募集するものではなく、女性相談所から依頼を受け、6カ月間は家賃補助をする他、各自の事情に合わせ関係機関と協力しながら支援を行っています。また、支援期間終了後の半年間はフォローアップ期間を設け、利用者の不安軽減を図るよう努めており、事業受託後、新規に3世帯が活用しています。

当事業を運営する為に4月から新しく嘱託職員2名が自立支援員として配置されました。新人2人（歳は取っていますが新人です！）は寮長、婦人寮職員から助言を貰うことができますという恵まれた環境で事業に取り組んでいます。

これからも支援を利用される方の安全を守り、それぞれの事情に応じた自立に繋がる支援ができるよう関係機関と力を合わせて頑張っていきたいと思えます。



全国社会福祉事業団九州ブロック職員研修会に参加して



養護・特別養護老人ホーム 八重山厚生園 介護員 宮城 寿伸

10月8日～9日、福岡市天神にて平成27年度全事協九州ブロック職員研修会があり、沖縄県からは事務局1名、宮古厚生園2名、八重山厚生園3名合計6名が参加しました。実践活動報告会では、第1分科会「障がい児・者支援について」第2分科会「高齢者支援について」に分かれ、第2分科会で、「八重山厚生園におけるNST立ち上げから現在の取り組みについて」多職種との連携」をテーマに事例を交え発表しました。発表後、コメンテーターから「分かりやすく、現場の声が反映されていて良い活動だ」等、お褒めの言葉を頂きましたが、「職員に対するモニタリング強化を図るともつと良い」との助言を受けました。今後は、助言された事項を取り入れ、より質の高いサービスの提供ができるよう多職種連携の強化を図りたいです。



九州地区救護施設職員研究大会



救護施設 いしみね救護園 介護員 柳田 優枝

第39回九州地区救護施設職員研究大会が7月2日～3日、佐賀県にて行われました。今回、いしみね救護園が意見発表することとなり、25年度より実施している「日中活動支給金」について意見発表を行いました。「日中活動支給金」の目的として、利用者の方々の施設内の活動による生きがい作り、意欲向上と社会復帰を目指し、職員がどのような支援を行なっているか、また利用者の皆さんにどのような効果があったのか等を報告しました。支給される金額は少額ではありますが、各活動に挑戦することにより、職員も利用者本人の環境の強みに着目するストレングスな視点にたつた支援にかわつてきていると感じています。グループ討議では、各施設の取り組みや、さまざまな意見交換を行いとても参考になりました。今後も、いしみね救護園が地域に根差した信頼れる施設を目指し職員一丸となり利用者の為に頑張つていきたいと思ひます。



27年度介護員連絡会・レク研修



障害者支援施設 都屋の里 介護員 又吉 篤志

平成27年度 第1回介護員連絡会では各施設での課題や情報の交換等を高齢者施設、救護施設、障害者施設に分かれ情報交換会を行いました。各施設とも様々な課題等があり、より個別化したサービスの提供、介助の方法等を確認し情報を得る事が出来ました。午後からの研修では「レクリエーションの基礎と実践」をテーマに沖繩福祉レクリエーション・ネットワーク事務局長 久場勝子氏を講師に迎え利用者の生活の質の向上を図ることを目的に、レクリエーションの意義を学び、実践をおして基本技術を習得する事とし、障害のある方から自立者まで幅広く一緒に楽しめるレクリエーションの実践方法やレク指導者の心遣いや対応方法等を学ぶことが出来ました。今後も、事業団全体で情報を共有しさまざまな課題等に協力していく事を確認して、より良いサービスの提供が出来る様務めていきたいと思ひます。



マイナンバー(個人番号)に係る取扱等の研修について



法人事務局長 金城 善史

平成27年10月から「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「マイナンバー法」という)の施行に伴う法人内研修会を開催しました。研修内容は、当法人の労務相談先である上原労務管理事務所の職員を招いてマイナンバー法の概要、マイナンバー(個人番号)の具体的な取扱注意事項、漏洩しないための対策等の説明を受け、その後法人としてマイナンバーを適正に取り扱う為の取扱要綱、基本方針及びマイナンバーの収集等についての確認を行いました。また、施設利用者のマイナンバーの取扱等については、行政等からの通達・通知等がまだ示されていない状況であることから今後の動向に注視する必要があります。マイナンバーについては、今後、多目的な利用等が見込まれていることから制度内容の把握と法人としての取扱方法等を確認し、日々の業務を遂行してまいりたいと思ひます。





施設だより

グループ活動&ピクニック

医療型障害児入所施設 沖繩療育園
保育士 宮里 紀子

ネオパークで鳥に囲まれハイパチリ！毎月5人前後の小グループに分かれて希望したコースに出かける活動は皆さんの楽しみのひとつです。観光地の首里城・ピオスの丘・ライカム・こどもの国を始め、6月は平和学習を兼ねて糸満へ。夏はプールで魚になり更に涼を求めて映画館やカラオケハウス・プラネタリウムにも出かけました。医療的ケアが多くなかなか外に出かけることの出来ない利用者にはアロマやフラワーのセラピストを招いて園で癒しの時間を過ごしてもらいました。バスにゆられて笑いだす人、映画を見て涙ぐむ人。グループ活動やピクニックでは、楽しいひとときを過ごされています。



家族交流会でシェフの絶品料理に感激

障害者支援施設 北嶺学園
介護員 城間 愛

9月13日に、北嶺学園食堂ホールにて家族交流会が開催されました。今回は特別企画として、県内ホテルレストラン関係者の皆さまで作られた、友志の会（沖縄食文化交流会）のシェフの皆さまのご厚意により、北嶺学園へ出張して頂き、昼食バイキングの提供が行われました。県内の一流シェフの皆さまが腕を振るった絶品料理、冷製スープの3種盛りから始まり、サラダやお寿司、ステーキにデザートなどを堪能し、利用者は何度も足を運び、おかわりしていました。利用者やご父母の皆さまからは、「おいしかったね」「また、食べたいね」などとお声を頂きました。普段とは違った雰囲気の中、豪華な料理を囲み、利用者、ご父母の皆さま、職員一同、笑顔で会を終えることができました。美味しい料理を提供して下さった友志会の皆さま、ありがとうございました。



調理実習で作る楽しみを

救護施設 いしみな救護園
栄養士 稲福 直子

自立支援の一環として、利用者からの要望があった調理実習を、今年から年4回の計画で行うことになりました。6月は、ヒラヤーチー（沖縄風お好み焼き）作り、利用者は好々にタマナー（キャベツ）やチリビラー（ニラ）にポークを入れたり、シーチキンを入れたり、昔取った杵柄？ 誰一人火傷をすることなくにぎやかに手際よく調理されていました。今回は、ホットケーキミックスを使いバナナや豆腐、チョコチップス等を加え各自、思い思いに形作りを行い楽しみながら焼き上げ、3時のおやつに笑顔でおいしいクッキーをいただくことができました。次回は、12月にカーサムーチャー（鬼餅）作り、2月にはバレンタインデーと言つことでチョコレート作りを行う予定になっており、利用者みなさんの楽しみ方の調理実習となっています。



楽しかったね！東京ディズニーツー旅行

障害者支援施設 都屋の里
介護員 杉本 美喜子

9月29日から10月1日の3日間、利用者さんの夢を実現する東京ディズニーツー旅行を実施しました。初の試みで大きな課題や難題も数多くありましたが、旅の行程一つ一つを丁寧に組み立て、利用者さんと共に取り組んだ旅行でした。

ディズニーツーでは、ミッキーと写真を撮ったり、車椅子でも参加できるアトラクション、大型の船やバスライトイヤーに乗りました。とってもスリルがあり、利用者さんも興奮気味。又3Dミニシアターを观看了が、映像が飛び出し、風、水が顔に当たる仕組みがあり、とても楽しい経験でした。

今回の旅行は無理をしない様子をモットーに余裕を持って行動し、利用者さんが最後まで楽しめるような日程を組みました。その結果、利用者さんにとってこの東京ディズニーツー旅行は、とても楽しい感動の3日間となりました。



ボランティア活動紹介 くちむぐくる(思いやりの心)

サマーボランティアとの交流



障害者支援施設
あけぼの学園
サービス管理責任者 宮里 幸代

「宮古島市サマーボランティア体験研修会」とは、だれもが安心して住めるまちづくりの実現に向けて宮古島市社協が主催する活動です。参加されるボランティアは地元の中、高校に通う学生の皆さんです。3日間の学習期間が設けられ、2日目の施設実習の際に、地域のさまざまな社会福祉施設へ出向き交流の機会をもちます。

当施設も毎年ボランティアを受け入れており、夏休み期間の恒例行事としてすっかり定着しています。当園の子ども達や利用者の皆さんも、数日前から訪問を心待ちにされています。今年度は5名の参加があり、参加者からはお礼のコメントの他に楽しかった話や体験を通して知ったことが新鮮な感覚そのままによせられました。地域貢献のひとつとしてこれからも継続していきたいです。



AWWA(米国婦人福祉協会)の 慰問交流について



救護施設
よみたん救護園
管理課長 名嘉 克文

当園では、以前よりAWWA(米国婦人福祉協会)との交流があります。毎年、5月には基地内将校クラブにてランチと親睦会があり、ご招待頂いています。また、年に数回、来園して頂いて、利用者との交流を深めて頂いています。時には、沢山のプレゼントを頂き、利用者全員が大喜びで、園からは利用者の作品等をお返ししています。さらに、これまでに、大型リフト車や陶芸窯の寄贈等、AWWAからは、本当に多大な心温まるご寄贈を頂いています。そして、今年度、以前からお願いしていた10人乗りハイエースのご寄贈を頂きました。ありがとうございます。今後も、地域交流の一環として更なる親睦を深めて行きたいと思っています。



宮里成人会「トーカー・カジマヤ」 合同祝賀会」の余興について



養護・特別養護老人ホーム
名護厚生園
生活支援課長 屋良 利勝

今年1月より宮里区成人会へ入会。宮里区の行事活動に参加している中で、9月の宮里区「豊年祭」の余興に参加しその反省会でメンバーの一人が「ボランティア活動として名護厚生園でも披露したいネ」との一言。同席していた婦人も賛同しその場で「合同祝賀会」への余興出演決定。

10月16日当日、宮里成人会と婦人会9名と来賓挨拶された比嘉宮里区長も飛び入り出演となり計10名で、中国風ドレスと女性らしさを出すためにロングヘヤーのかつらを身にまとい「上海エナジー」の曲に合わせて踊りを披露しました。拍手喝采!!

余興終了後、控室で「機会があれば又、余興したい」とメンバーより。これからも、宮里区成人会と共同でボランティア活動を広げていき地域貢献に励んでいきたい。



中部農林高等学校の 学生ボランティア



養護・特別養護老人ホーム
具志川厚生園
生活相談員 中村 くりこ

中部農林高等学校の学生をボランティアとして受け入れました。福祉科には利用者との交流及び居室の窓拭きまた造園科には、正門からの黒木の剪定をして頂きました。

環境整備においては、学生の力を借り、普段手入れの行き届かない場所が綺麗になりました。福祉科の学生にとっては、介護の現場を目で見て施設を理解して頂き、造園科の学生からは「校内実習とは違い少しのズレが相当気になり、これを機に剪定の腕をあげ、もっと納得いく樹の形にできるようにしたいと思いました。」との話があり、ボランティアをとおして、技術の向上にも期待がもて双方に良い効果が生まれています。社会福祉法人は地域貢献が求められており、福祉教育の一環として、今後もボランティア活動を通して人材育成に繋がっていきたく思います。



第12回 のびのび音楽祭



養護・特別養護老人ホーム 名護厚生園
介護員 玉那覇 勝海

11月19日沖繩療育園にて第12回 のびのび音楽祭が開催され7施設が参加しました。天候にも恵まれ、汗ばむぐらしいの陽気でした。

今回の玄関装飾はいしみね救護園。4月に美ら海水族館に行った思い出を、ジンベイザメやマンタ、色鮮やかな風船で作ったお花で飾り付けとても華やかな作品で迎えてくれました。

そして舞台装飾は名護厚生園。職員と利用者で話し合った結果「海」をテーマにする事が決まりました。

テーマが決まってからはスムーズで、余暇活動等を利用して新聞紙や厚紙を使いサンゴや魚を作り、ビーチボールに丸めた花紙を付けアバサー（ハリセンボン）を作ったりと、日頃と変わった作品作りにとっても楽しもうにしています。

オープニングは、昨年優勝したいしみの救護園からの優勝旗返還



で始まり、沖繩療育園の「スマイル」でスタートしました。

午前中の部は、5施設の発表に加え元気いっぱい保育園児によるエイサーで盛り上がり、午後の部では、2施設の発表と「リズムトレーニング」「みんなで大合唱」があり、利用者が自ら前に出て、曲に合わせてステップを踏んだり、踊ったりして会場を盛り上げていました。

全ての発表が終了し、残すは表彰式。各施設名前が呼ばれた瞬間「オッシャー」「フオー」と声を上げ喜んでいました。中でも一番大きな声を上げ喜んでいたのは優勝した北嶺学園。抱き合って喜び、中には涙ぐんでいる方もいました。

残念ながら優勝を逃した利用者の中には「悔しい」「残念」等の声もあり、日頃体験出来ない感情・喜びが活動を通し感じられた事とされています。

また来年の「のびのび音楽祭」に向け音楽を楽しみながら練習し、成果が発揮出来るよう頑張っていきたいと思います。



地域だより

台風被害について



養護・特別養護老人ホーム 八重山厚生園
管理課長 金城 毅

近年、地球温暖化に伴う異常気象が世界各地で発生し、日本でも大雨による被害や大型台風等が発生しています。当園でも8月に台風15号が上陸し、施設設備等に大きな被害を及ぼしました。先ず、利用者への影響では、約一昼夜に及ぶ停電と機器の故障が発生しクーラーとボイラーが使用できなくなり、利用者の中には体温調整が出来ず体調を崩す方もおり、施設内の扇風機をかき集め停電の復旧、クーラーの修繕が終わるまで現場スタッフは気が抜けない状況が続きました。

今年の台風被害の教訓から、利用者に対し安定したサービス提供が継続できるように、事前対策を十分に実施し、台風通過後の設備の復旧等についても各方面から様々な対応策を検討していきたいと思えます。



1509名フラダンスでギネス世界記録達成!



養護・特別養護老人ホーム 宮古厚生園
生活支援課長 川根 直美

10月3日、宮古島市市制施行10周年・伊良部大橋開通・ハワイ州マウイ郡姉妹都市締結50周年記念事業の一環として、ギネス記録挑戦が伊良部大橋で開催された。宮古厚生園も10名の職員（男1名）と友人を含む 計14名で「あばらぎ(美人)」チームを結成し、フラサークルに通う職員のもと1ヶ月前から練習を開始。「手はびらびらしない」「足はつま先から、琉舞じゃない!」厳しいながらも笑いのある指導のおかげで、チーム心を一にして世界記録に挑戦。当日はチーム全員完璧な踊りでギネス達成し感動と喜びをかみしめての記念撮影。後日、慰労会では衣装準備からのいろいろの話題でおなが痛くなるほどに笑い盛り上がった。このパワーを明日に繋げるぞ!



施設長リレーエッセイ

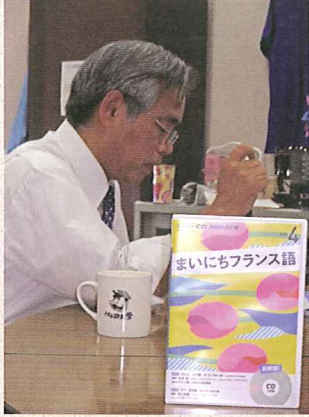
みんなで
「ウトウイムチ(おもてなし)」の
オリンピックを



障害者支援施設
北嶺学園
園長 金城 茂

聡明で吸い込まれそうな微笑。

滝川クリステルさんの「おもてなし」プレゼンから早2年。2013年9月、IOC総会にて2020年夏季オリンピック・パラリンピック競技大会(以下オリンピック)東京大会が決定しました。しかしその後は猪瀬直樹さんの知事辞任、新国立競技場計画の白紙撤回、さらにはエンブレムのパクリ疑惑など逆風・荒波の真つただ中です。何かとケチがついてしまいました。が、私にとって実際に観戦できるかもしれない最初で最後のオリンピックをどうにか見に行きたいと



思案中です。そしてクリステルさんからのお願いである「ウトウイムチ」を積極的に行えないものか、海外の方々に沖縄の素晴らしさを案内したいと考えた末に外国語を学ぶことを決意。なんと9月からフランス語の勉強を始めました。どうしてフランス語?というくだりは紙面の関係上割愛します。

さて、通勤の車中はフランス語が飛び交いボンジュール・メルシーボークー、独特の発音に苦笑しながら、講師のモチベーションアップも手伝い、5年後には流暢に話す自分が容易に浮かびました。しかし家人には内緒、通勤時のみのレッスンだったのが致命傷となり、ご多分にもれずシルバーウィークであつさり挫折。頭の片隅で微笑むクリステルを直視できず悶々としていた矢先、このリレーエッセイが舞い込んできました。これはチャンス、これで彼女の瞳を見ることが出来ると今回スノーデンばりの暴露。退路を断つことに致しました。再びレッスンを開始されると予感しています。サーツ時間はたっぷりあります皆さんも一歩踏み込んだウトウイムチしてオリンピックに参加しましょう。グアンナゴー”

第49回 全国社会福祉事業団大会 永年勤続表彰者

当法人より、5名の職員が社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会表彰を受賞されました。

【受賞者紹介】

- ・安次富 司 (沖縄療育園 介護員)
- ・古見 勝二 (都屋の里 介護員)
- ・上地 博輝 (いしみね救護園 介護員)
- ・新城美和子 (宮古厚生園 介護員兼 サービス提供責任者)
- ・佐久田智代 (宮古厚生園 看護師)

受賞された皆様から介護員、看護師を代表して、お2人の永年勤続(20年)の思いをご紹介します。

もう20年!!



養護・特別養護老人ホーム
宮古厚生園
看護師 佐久田 智代

この度、永年勤続20年の表彰を頂きました。これまで20年間、心身共に健康で業務に従事してこれたのは、利用者の皆様や家族、上司、同僚、OBの方々から多くのことを学ばせて頂き支えて下さったことに心から感謝しています。これからも常に利用者の目線で心に寄り添うケアを目指し、私自身

の看護観がぶれることなく柔軟な心と身体で他職員との連携を図り、利用者が安全で安心した生活が送れるように、笑顔で楽しく感謝の心で頑張ります。

20年を振り返って



医療型障害児入所施設
沖縄療育園
介護員 安次富 司

平成7年4月に八重山厚生園に採用されてから、20年が経ちました。これまで続けられたのは先輩方や同僚の皆様のご指導とご協力があったからです。その中でも利用者さんの温かい笑顔。「ありがとう」の言葉がすごく励ましとなり今日に至っています。心より感謝しております。これからも、利用者の園生活が、安心安全で笑顔があふれた生活の場となるよう、専門的支援を提供していきたいと思っております。今後利用者に関わる時間の一瞬一瞬を大切にしていきたいと思っております。



旬の食材活用レシピ



養護・特別養護老人ホーム
具志川厚生園

管理栄養士 **みやぎ ゆうこ**
宮城 優子



田芋入り芋くず天ぷら

材料

材料名 (3~4人分) …… 分量
 田芋 (蒸し) …… 150g
 芋くず …… 100g
 水 …… 適宜
 ニラまたは小ネギ …… 20g

- 作り方**
1. 田芋の皮をむき、すりおろす。
 2. 1の田芋と芋くずを混ぜて、水を少しずつ加える。塩を入れて、よく混ぜ合わせる。
 3. 耳たぶくらいの固さになったら、ニラのみじん切りを混ぜる。
 4. 大判型にし、中温の油で揚げる。

田芋とは
 水田の中で次々と子芋を増やすことから子孫繁栄をもたらす縁起物として欠かせない食材で、お祝い事には多く調理されます。生のままでは腐敗が早いので蒸して流通されます。また、田芋はでんぷんが豊富で、カリウムやカルシウム、鉄分、ビタミンを含んでいます。



職員の語らい

※スポーツと読書の秋



救護施設 よみたん救護園

出納員

まえぞこ 前底 駿介

最近涼しくなってきた、運動するのに最適な季節ですね。僕は身体を動かす事が好きで、週に3回程度スポーツをしています。走ることも好きで、その中でも特に、皆で一致団結してタスキを繋いでいく駅伝の連帯感が好きです。一昨年の労金駅伝では第一走者を勤めさせていただきました。結局僕の後には誰も走ることはありませんでしたが、一生忘れられない良い思い出ができました。

あと小説も好きで、週に1冊は読んでいます。最近読んだオースメの本を写真で載せておくので、良かったら読んでみて下さい。



※THE趣味



障害者支援施設 都屋の里

介護員

やまうち 山内 克也

外見や性格上意外だとビックリすると思いますが、私の趣味と特技は音楽鑑賞、楽曲制作、カメラ・ビデオ撮影や編集、音響操作です。

特に楽曲制作は、休日に楽曲制作教室に通って先生のアドバイスや知識を学びながら制作しています。目標は、アマチュアコンテストで受賞する事です。

また、時々ですが、沖縄の超大手ブランド会社に勤めている友達（カメラマン）と景色や風景の撮影に行ったり、



結婚式披露宴に使用するビデオレターやプロモーションビデオ等の編集作業したりすることが私にとっての趣味や特技です。

※私の休日の楽しみ



養護・特別養護老人ホーム 名護厚生園

介護員

きんじょう 金城 修

趣味は？と聞かれて、「何もありません」と答えて…まあ、ゴルフかな？ でも最近はスケジュールが合わずなかなか行けません。今の楽しみは、休みの日に娘とドライブや公園めぐりをして過ごすことです。娘は、10月に満一歳を迎え、タンカーユーエをみなさんに祝っていただきました。身体をいっぱい動かして貰うと動きまわる、ついていくのに体力が要り、泣き出したら怪獣に変身します。日々の成長の速さに驚きと嬉しさを感じているところです。これから子育てを楽しんでいきたいです。



※私にとって必要な事



養護・特別養護老人ホーム 八重山厚生園

介護員

あらかき 新垣 由貴

私は、ウエイクボードやフットサル等の趣味を持っています。特に海で過ごす休日は貴重な時間です。自然の力は偉大で、海に浸かると気分が一新。ストレスが溜まる前に、程良く趣味を挟み、プライベートの充実を人生プランの一部に取り入れています。何事も常に目標を置き、ライバルの存在が自身を向上させていると実感しています。仕事があるから趣味が楽しめ、趣味が楽しめるから息抜きがされ、また仕事に精が出ます。程良いバランスが私には必要で、今後もこのスタイルは続いていくことでしょう。

